

令和6年11月17日(日)奈良新聞より抜粋

歌って踊って歓声

奈良佐保短大で「こどもフェスタ」

学生も学びを深め

奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学で16日、「2024こどもフェスタ」が開かれ、市内はもとより県内や京都府内から大勢の親子連れが参加した。

同短大には幼稚園教諭や保育士、小学校教諭の資格取得などを目指す「地域こども学科」があり、フェスタは学生らが実際に子どもたちとの触れ合いを通し、「学び」を深めるイベントとして毎年この時期に開催。学生らは同科の2年生全員と1年生を含む約100人が参加した。

事前申し込み制で、集った親子は約200人。子どもたちは、学生らと一緒に歌ったり踊ったり、人気キヤラクターの手作りお面を被って「縁日っこ」をしたりして、歓声を上げて楽しんでいった。

同短大卒業生という木津川市の太田達也さん(33)、香奈さん(31)夫妻も、6



学生と一緒に歌ったり、踊ったりして遊戯を楽しむ子どもら=16日、奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学

歳と2歳の2人の子どもを連れて参加。「いつも学校からお知らせがあるのでフェスタにはよく参加します。2025年度以降の学生募集は停止すると聞いて、寂しい思いもしています」などと話した。

同短大の生駒英法准教授(41)は「子どもと実際に関わることで、いつもと違う学びも体験できる。来春保育の現場に就職する2年生にとっては集大成です」と意義を語った。